

【西部保健医療圏】

【埼玉県の基本データ】 <2015年> 平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <2025年、2040年> 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <出生数、死亡数>人口問題研究 第76巻 第1号 (2020年3月刊) 国立社会保障・人口問題研究所			
	2015年	2025年推計	2040年推計
人口総数	7,266,534人	7,202,953人	6,721,414人
人口増減率	2010→2015 1.0%	2015→2025 ▲0.9%	2025→2040 ▲6.7%
年齢3区分別人口	人口に占める割合	人口に占める割合	人口に占める割合
0～14歳	913,657人(12.6%)	819,197人(11.4%)	723,391人(10.8%)
15～64歳	4,548,531人(62.6%)	4,350,217人(60.4%)	3,700,406人(55.0%)
65歳～ (うち75歳～)	1,804,346人(24.8%) (772,930人(10.6%))	2,033,539人(28.2%) (1,208,900人(16.8%))	2,297,617人(34.2%) (1,245,724人(18.5%))
出生数(前5年計)	(2010～2015年)290,381人	(2020～2025年)245,881人	(2035～2040年)225,543人
死亡数(前5年計)	(2010～2015年)300,404人	(2020～2025年)392,036人	(2035～2040年)477,188人
保健所			
市町村			

【圏域の基本データ】 <2015年> 平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <2025年、2040年> 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <出生数、死亡数>人口問題研究 第76巻 第1号 (2020年3月刊) 国立社会保障・人口問題研究所			
	2015年	2025年推計	2040年推計
人口総数	778,416人	743,895人	651,205人
人口増減率	2010→2015 ▲1.3%	2015→2025 ▲4.6%	2025→2040 ▲14.2%
年齢3区分別人口	人口に占める割合	人口に占める割合	人口に占める割合
0～14歳	91,832人(11.8%)	75,579人(10.1%)	59,001人(9.1%)
15～64歳	478,125人(61.4%)	426,808人(57.4%)	328,127人(50.4%)
65歳～ (うち75歳～)	208,459人(26.8%) (88,108人(11.3%))	241,508人(32.5%) (145,588人(19.6%))	264,077人(40.5%) (152,615人(23.4%))
出生数(前5年計)	(2010～2015年)28,704人	(2020～2025年)22,350人	(2035～2040年)18,173人
死亡数(前5年計)	(2010～2015年)32,125人	(2020～2025年)43,096人	(2035～2040年)54,137人
保健所	狭山保健所		
市町村	所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市		

地域医療提供体制の推進に係る課題

◆ 小児救急医療

- ・圏域の初期救急医療について、医師会等の協力を得て、時間外に診療できる休日夜間診療所や在宅当番医制などの体制整備を進めている。しかし、入院や手術が必要な患者へ対応する「第二次救急医療」については、所沢地区の輪番病院の空白日（第1・3日曜日夜間）が解消されておらず、十分な医療提供体制の確保ができていない。
- 「課題解消への取組」、埼玉石心会病院様の協力を得て、所沢地区の2次救急輪番の空白日が第1、第3日曜日夜間のみとなった。また、西埼玉中央病院様では小児救急患者の積極的な受け入れを行っていただいている。このため、課題からはいったん外すこととする。

◆ 在宅医療の推進

- ・高齢者の独居や夫婦世帯、自宅や地域で疾病や障害を抱えつつ生活を送る人が今後も増加していくことが見込まれるため、在宅医療のニーズは大幅に増加すると考えられる。そのため、最期まで住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、医療と介護の関係機関や多職種が協働して高齢者を支える「地域包括ケアシステム」の構築、「入退院ルール」の策定が必要となる。しかし、病状急変時に受け入れる医療機関の確保どの課題が解決できていない。

参考データ（在宅医療）

厚生労働省関東信越厚生局「施設基準届出受理機関名簿」

	2016年4月1日	2021年5月1日
【埼玉県】		
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等	751 (人口10万人当たり)	869 (人口10万人当たり)
医学総合管理料届出医療機関数	(10.25)	(11.75)
【西部圏域】		
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等	56 (人口10万人当たり)	87 (人口10万人当たり)
医学総合管理料届出医療機関数	(7.19)	(11.22)

2025年に向けて圏域が目指す姿

疾病の発症により必要に応じて、高度急性期、急性期、回復期、慢性期、在宅医療等まで適切な医療が効率的に受けられるよう医療提供体制の整備を進める。